

## 令和7年度 第2回京丹後市スポーツ推進審議会会議録（公開用）

1. 会議名：令和7年度 第2回京丹後市スポーツ推進審議会
2. 開催日時：令和8年2月19日(木) 10時00分～11時30分
3. 開催場所：アグリセンター大宮 1階 視聴覚教育室
4. 出席者：小谷順一委員、板倉俊明委員、角江眞由美委員、田崎仁志委員、  
和田直子委員、小森直子委員、吉岡美乃里委員、江浪敏夫委員、  
今岡梨花子委員、谷口正郎委員、辻野修委員、藤原英一委員
5. 事務局：松本明彦教育長、松本優生涯学習課長、  
下戸裕子スポーツ推進室長、蒲田真穂主査、蛭子和也主任
6. 議題及び会議の公開又は非公開の別：公開
7. 傍聴人の数：2名
8. 発言等の内容（要旨）：以下のとおり

### ■開会

事務局：本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。私は、本日司会進行を務めます 教育委員会生涯学習課の松本です。よろしくお願ひします。  
今岡委員から会議に少し遅れるとのご連絡をいただいています。そのほかの委員の皆さまにはご出席いただいています。  
それではただいまから第2回京丹後市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。最初に会議の成立についてご報告いたします。京丹後市スポーツ推進審議会条例第5条によりまして、本審議会の会議の開催につきましては、委員の過半数の出席が必要となっています。現時点で委員12人中11人に出席いただいていますので、会議が成立していることを報告します。  
それでは、開会にあたりまして小谷会長からご挨拶をいただきます。

### ■あいさつ

会長：皆様には、お忙しい中、本日の推進審議会に出席いただきありがとうございます。審議会では、多くのご意見をいただきたいと思ひます。いつもこの審議会では、少子化の問題、施設の老朽化の問題など様々な課題が提起されていて、皆さんの意見で解決しています。ここでの意見がいろんなところに反映される会議にしたいと考えていま

す。

教 育 長：年度末の各組織の皆様にとってお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。また、日頃より本市のスポーツ振興に様々な形でご尽力いただいていることに関しましても、厚く御礼申し上げます。1月末から2月上旬にかけての大雪で、学校現場でも除雪や登下校の安全確保で本当にご苦勞があったと思います。大宮中学校のグラウンドもようやく雪が解け、外での部活動もできるようになって春が近づいてきたと感じています。

さて、皆さんもご覧になっていると思いますが、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、日本人が大変な活躍を見せてくれています。こうした様子からスポーツの持つ力や、果たす役割の大きさを改めて感じており、スポーツの持つ力を京丹後市のスポーツにも活かしていきたいと思っています。

現在、第2次スポーツ推進計画に基づき、スポーツ施策を進めていますが、この計画は令和9年度末で終期を迎えます。令和8年度には、次期スポーツ推進計画を策定するうえで、参考資料とすべく市民アンケートを実施します。本日は、このアンケートの内容について審議いただきたいと思っています。

事 務 局：以降の進行につきましては、条例の規定に基づき、小谷会長にお世話になります。小谷会長、よろしく申し上げます。

会 長：それではここからは私が議事進行を務めます。議題はお手元の次第のとおり、報告事項が1件、協議事項が2件です。

本日も審議いただきます内容につきましては、議事録を作成させていただきます。議事に入る前に、議事録署名人を指名します。議事録署名人は、角江委員にお世話になります。角江委員、よろしく申し上げます。

※議事録署名人の指名 角江眞由美委員

#### ■報告事項

- (1) 令和8年度社会体育関連予算案（主要事項）について  
令和8年度社会体育関連予算案（主要事項）**資料1**  
事務局より説明を行った。

次のとおり意見があった。

委 員：私は中学校体育連盟の代表で来ている。前回の審議会でもお聞きしたが、途中ケ丘東駐車場の整備に係る工事のことです。現在、丹後ブロック駅伝を峰山総合公園の球場周辺を走るコースで実施しているが、これを令和9年度には途中ケ丘公園の周辺コースに変更する予定。令和9年度までにこの東側駐車場の工事が完了している

かどうかで運営が変わる。令和9年度秋までに完成するのか、教えていただきたい。

事務局：令和8年度中に工事を完了する予定である。令和9年度には間に合う見込み。

委員：途中ヶ丘公園の駐車場について、初めて行った際に入り方が分からず困った。国道からの入口が分かりにくいので、看板の整備をお願いしたい。

事務局：国道からの入口の看板整備ができていないことは認識している。新しい駐車場も含めて、看板の整備を検討したい。

#### ■協議事項

(1) 第3次京丹後市スポーツ推進計画策定に係る市民アンケートについて

令和8年度京丹後市スポーツに関するアンケートの概要

資料2

第3次スポーツ推進計画時系列チャート

資料3

京丹後市民のスポーツに関するアンケート案（令和8年度）

資料4

京丹後市民のスポーツに関するアンケート（令和4年度）

資料5

新旧対照表（令和4年度アンケート・令和8年度アンケート案）

資料6

京丹後市スポーツ施設の個別施設計画（案）

資料7

事務局より説明を行った

次のとおり意見があった。

委員：問28に、「学校の部活動の地域移行」とあるが、国の方針では「地域展開」に整理されている。すべて「地域展開」に修正すべき。

令和8年度から改革実行期間に入り、各市町で実行していく時期。アンケート実施時期（令和8年8月）に「ご存じですか」という質問がふさわしいか検討が必要。

18歳以上を対象にこの質問をして、どう反映していくのか。市の地域展開の会議と連携しながら、設問内容を精査すべき。

事務局：今、教育委員会の方でも進めていますので、そちらの会議とも連携して、設問内容を精査していきたい。

委員：問19「クラブ・団体の参加」について。「総合型地域スポーツクラブ」という言葉は全国的に使われているが、京丹後市では「大宮スポーツ振興会」など、形を変えた総合型スポーツクラブが存在している。聞きやすい言葉、身近に感じられる言葉を補足する必要がある。他の旧町でもコミュニティで活動している団体がある。そういった団体も対象に挙げてアンケートを整理すべき。

委員：天候的な課題があり、施設の老朽化だけでなく、今風の施設に変えていく必要がある。

夏の暑い時期に体育館での活動が抑制されている。ほとんどが学校施設を使用しているため、市民がどのように感じているか踏み込んだアンケートが必要ではないか。高温化により、春から秋にかけて熱中症やゲリラ豪雨への対応が必要。ナイター施設、冷風機、突然の豪雨に対する避難場所などの要望を把握すべき。サッカー場、峰山総合グラウンドなど、活動する施設はあるが避難する場所がない。具体的な内容としてアンケートに盛り込んでほしい。

事務局：問19の項目を整理する。施設関係の設問は、スポーツ施設の環境整備なども踏まえた内容とするなど、整理していく。

委員：資料4の3ページ、問7「普段の運動・スポーツはどこでされていますか」について。高齢者は公民館でも介護予防体操など活動している。公民館という選択肢を増やしてほしい。また、4ページの種目に「介護予防体操のびのび」を入れてほしい。

事務局：検討します。

委員：「知っていますか」という問いに対する回答の選択肢に「わからない」と回答した場合、そこで終わってしまう。注釈や別紙で説明があれば知らなかった人への啓発にもなる。

事務局：検討します。

会長：前回のアンケートから「障害者スポーツの振興について」の項目が無くなり、新アンケートの第三次計画策定に向けての問いで「障害者スポーツの推進」の項目1つになっている。市はパラスポーツにも取り組んでおり、生涯学習課も力を入れているので、もう少し丁寧な設問にしてほしい。

事務局：第2次スポーツ推進計画でも力を入れる項目としており、今後推進していかなければならない分野。もう少し丁寧に設問を作る。

委員：資料4の10ページ、問32「年齢」について。60代の次が「70歳以上」になっているが、70歳と80歳以上では、意見が違う。70代、80歳以上に分けたほうが良い。

事務局：検討します。

(2) 社会体育施設の個別計画について 資料7

事務局より説明を行った。

次のとおり意見があった。

委員：体育館は京丹後市の避難所に指定されている施設が多いが、空調がついていない。今後、酷暑や厳寒時に大きな災害があれば避難所として使われるが、計画を見ると空調施設の整備が全く上がっていない。防災関係とどう考えているのか。

事務局：社会体育施設の体育館の空調は、順序があり、まだ厳しい状況。学校教育で使っている小中学校の体育館の空調もまだ進んでいない。来年度は、可搬式のスポットクーラーを小中学校の体育館に導入予定。完全空調ではなく、スポットクーラーで効果を確かめながら、防災時にも活用していく方向。本格的な空調は中学校の体育館から調査をしながら1校ずつ進める予定である。その後には社会体育施設という順番。今ある社会体育施設を一気に空調も兼ね備えることは、現状では難しい。

委員：避難所には、いろんな方が避難されてくる。バリアフリーが学校関係ではなかなか進んでいない。福祉避難所が各地区に1つあるが、そこまでたどり着けるかどうかもわからない。この施設計画書には、電気や空調設備の修繕予定表は記載されているが、バリアフリーという項目がない。バリアフリーと言っても、スロープをつければいいわけではなく、点字、音、光など、いろんな方に対応できるものが必要である。かなりの費用がかかると思うが、予算を組んで、進めていっていただきたい

委員：障害者団体で防災の勉強会をした。障害のある子どもたちや不自由な方々は、最終的に福祉避難所に避難することになっている。地域の体育館に移動したとしても、福祉避難所に移送していただけると思っている。福祉避難所自体も、車椅子が入るぐらいのことはしてもらっているが、点字や聴覚障害者への配慮はまだ不十分。予算もあるので、まず福祉避難所から、障害者のいろんな障害(視覚、聴覚、知的)に関わって、周りとの遮断するものなど、いろいろ考えてほしい。

事務局：避難所についてのご意見ありがとうございます。防災担当課とも共有しまして、今後の避難所のあり方について、考えていきたい。

会長：いつもこういう会議で感じることは、各団体、事務所、地域と繋がりが持っていないこと。1つ1つが課題を抱えている中で、一緒に合同で会議する中で課題が見えてくる。ここの会議だけでは駄目で、いろんな人が集まって、地域の人にも周知徹底して理解してもらわなければならない。スポーツに限らず、どんなことでも、一緒に共通課題を見つけていかなければできない。学校は学校、地域は地域ではなく、一緒にやっつけていかなければならない課題がいっぱいある。ここでの共通理解だけでなく、広げた共通理解にしていかなければ、本当に前進していかない。

## ■その他（連絡事項）

事務局より2月21日に開催される講演会について事務連絡を行った。

## ■各委員からの追加意見

委員：若いときは野球、ソフトボール、ソフトバレーなどいろんなことをやってきたが、最近は年齢的に全くできない状況。少子高齢化で、成人の方が非常に少なく、スポーツに関わる方も以前より減っている。地域や会社でスポーツを取り組もうという意識が集まりにくく、チームが解散していく。少年野球も、峰山町で以前は6チームあったが、現在は1チームしかできない状況。今後のスポーツ計画を作るにあたって、京丹後市も人口が減っていくことを踏まえながら、今後のスポーツのあり方を示していただきたい。若者が交流できるスポーツ大会があればいいのではないか。既婚者が少なく、子どもが生まれないのが一番大きな問題。人口が減るばかりで、高齢者は毎日訃報が出るが、子どもが生まれたという新聞記事は少ない。

交流人口で移住してくれる方もいるが、それだけでは難しい。スポーツを通じて交流して、京丹後市の方が結婚するようなことが何かできないか。地域の後継者を作っておかないと、地域は維持できない。

委員：過去、私たちが子どもの頃は、今のようにいろんなスポーツ競技がなかった。今、京丹後市の青少年スポーツ協会のクラブは64ある。京都府下で1番多い。子どもたちは複数のクラブ活動に参加している。例えば、陸上とサッカー、陸上とダンス、陸上とバスケットなど。青少年スポーツ協会の中では、子どもたちの取り合いをするのではなく、協働で育てていこうという考え方。交流を深めていながら、子どもたちをファーストに考えている。20年30年前とは全く違い、少子化の中で子どもたちを育てていく活動に予算を組んでいただいている。子どもたちには、企画としてきちんと浸透しており、成長していく過程で、陸上競技を中学校で継続する人もいるし、ソフトボールや野球をやる子もいる。文科系のブラスバンドなどに入っていく方もいる。自由度を持ちながら、活動を有意義に進めている。

会長：地域、学校、様々な団体が交流していかなければ、今後は厳しい。区長会も含めて、こういう意見が聞けるのはありがたい。スポーツ推進の方では外れるかもわからないが、こういうことが大事。

委員：子どもたちを見ていて感じるのは、子どもが少ないので、みんなで野球をしようなど、1つの小学校ではそんな場がない。クラブで始めたら、厳しく指導されて、辞めてしまう。楽しいと思える前に辞めてしまう子もいる。学校同士の交流の場があればいいのではないか。

より多くの子どもたちで、野球を楽しもうとか、地域ではなく、小学校の授業の中でも気軽に楽しめるところから、そういうクラブに興味を持って、真剣にしてみたいのにならばスポーツをする子どもが増えると思う。

委員：小学校の交流活動で言うと、市内の全小学校で取り組むのは、6年生の陸上運動記録会と、秋の駅伝競走大会(主に5・6年生)の2つだけ。中学校に行けばいろんな部活や大会があるが、小学生は少ない。以前は1人1団体に所属することが多かったが、今は1人の子どもが複数を掛け持ちしている。各青少年スポーツ団体はあるが、やりたいけど指導者がいない。今までやっていたところが規模縮小され、指導者がなくなったから閉鎖されたという例もある。自分の地元でやっていたところがなくなるから、他町に行かなくてはならないことも起こっている。 サッカーも、小学校の子どもたちだけを見ると、京丹後市であまりサッカー教室がない。本当にうまい子たちは福知山の方に行ったり、他市町に行く形になって、保護者の負担も大きい。続けたいが、近くにないからできないという状況もある。

交流もだが、指導者の育成・発掘の方も本当にこれからの課題。

委員：学校の授業で、あんまりいろんなスポーツをやっていないのではないか。自分自身の小学校時代は、クラス対抗でソフトボールやサッカーに取り組んだ記憶がある。息子があまり「これやった、あれやった」と言わない。現状どうなのか。何種類ぐらい経験しているのか。

委員：学習指導要領により、以前のように種目を限定してサッカー、野球、バレー、バスケットをするのではなく、体づくり、体ほぐし、ネット型というような形で、小学校段階では生涯スポーツのためのいろんな運動を経験させるのが主流。何時間野球するよ、サッカーするよというのではなく、いろんな運動に繋がるような動きづくりを、特に低学年・中学年が中心に行っている。高学年では、陸上、ネット型運動(バレーボール、ソフトバレー)、ベースボール型(野球、ソフトボール)などを行っている。小学校で中心に取り組んでいるのは陸上競技である。

遊びに関しては、ドッジボール、ソフトボールなどが以前は目についたが、最近は多様性もあり、男の子たちはドッジボールをやっている子もいる。各学校によっては、児童会が中心になって全校遊びやクラスの遊びを工夫して進めている。これとこれを確実にやっているというのではなく、いろんな動きや運動に繋がるような活動を進めている。

会長：子どもたちが楽しくやる中で、上達したいとか、競技力の部分もある。最後に、子どもたちが繋がりを持てるのはスポーツ。机上でやっても、なかなか人間関係はできないが、スポーツはものすごく大事。スポーツのとらえ方が、アスリートをつくるスポーツもあるが、心を育てるスポーツ、人間関係を作るスポーツという面も大事。

児童が減っている中で、本当にその結びつきは、教育課程の中では難しいが、各学校が工夫して頑張っている実態がある。この実態も含めて、PTAでも何でも、自分たちの目で見て考慮していくことは、本当に京丹後の子どもたちに生かせる。交流ということも、今後いろんな中でやってほしい。

委員：明後日、2月21日土曜日に、障害者を対象とした卓球バレー大会がある。生涯学習課と障害者福祉課が共催。今回は事業所中心だが、障害を持っている人ばかりの参加する交流会。これがもっと市民の方に知ってもらって、卓球バレーという種目を知ってもらえるといいと思う。

委員：来月3月8日、京都市内で全国車椅子駅伝が開催される。車椅子最大の駅伝大会ですが、あまり知られていないマイナーな競技。私自身も選手として出場する。パラオリンピックの名立たる方々も参加される地域対抗・都道府県対抗の大会。KBSテレビやYouTubeなどで取り上げられると思うので、ぜひご覧ください。

委員：補足します。大会は国際会館から西京極まで下りコースを使って行われる。今岡さんは、第2区間の走者として、京都Bチームのメインで出場される。京都も強いチームなので、ぜひ応援してください

#### ■閉会

事務局：大変ありがたいご意見をたくさんいただいた。市民アンケートについては、令和8年8月実施予定で、もう少し時間がある。設問で何を拾いたいのか、拾ってどういうふうに計画に反映していくのか、深掘り整理して、もう少し設問を整理していきたい。社会体育施設の整備充実については、どうしても大きな予算を伴う案件。財政厳しい中で、優先順位を見極めて順番に対応していくことになるので、ご承知おきいただきたい。

副会長：今のメンバーは意見が多く出るメンバーで、よい取りまとめができるのではないかと考えている。アンケートの結果を見たら、週に何回、どのくらいのスポーツをしていますかという目標があるが、なかなか目標にはほど遠い。数年前までチャレンジデーという、この日に市民の何%の方がスポーツしていますかというのがあった。昔は本当にいろんなスポーツ・運動をしていたが、近年は、ショッピングで15分以上歩いたらオッケー、職場で2階3階まで歩く・降りる、それもスポーツですよということで、どんどん裾野を広げていった。これがいいか悪いか何とも言えない。事務局の方と話していて、これがスポーツなんだろうか、我々が言うスポーツなんだろうか、年配の我々は頭を悩ませるようなこともある。国の方針の「する・みる・ささえる」の「みる」、例えば、ビールを飲みながらナイターを見る、これも見る、これもスポーツの一環だろうかなんていう話が今後出てくるのかなと思ったら、何となく不安な感

じもする。我々は体を動かすことがスポーツという認識があるが、これも時代遅れになってくるのかなと思うと、少し不安な部分もある。

皆さんの声を聞かせていただきながら、新しい推進計画ができますように思っている。

事務局：以上をもちまして閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。